

令和4年度 第1回向日市男女共同参画審議会 議事要点録

○ 日 時 令和4年9月26日(月) 午前10時00分から12時00分まで

○ 場 所 向日市女性活躍センター 大会議室

○ 出席者

(委員)

竹井委員、大東委員、岩野委員、松田委員、松野委員、森田委員、田賀委員
(事務局・説明員等)

ふるさと創生推進部長 鈴木、副部長兼広聴協働課長 柴田、副係長 蔦本

主査 酒井

○ その他出席者

傍聴者 なし

○ 会議概要

議事内容

(1) 令和4年度向日市男女共同参画推進事業について

令和4年度向日市男女共同参画推進事業について事務局から説明を行った。

(2) 令和3年度第3次向日市男女共同参画プラン進捗状況報告について

令和3年度第3次向日市男女共同参画プラン進捗状況報告について事務局から説明を行った。

【意見の要旨】

— 議事内容(1) について —

委 員：生理用品の配布とありますが、恥ずかしくて貰いにくいという場合もあると思う。職員に事前連絡をとって貰いに行くのか。

会 長：生理用品の配布方法はどのようなものか。

事 務 局：配布は女性活躍センターあすもあと向日市保健センターで配布している。ホームページ等をご覧いただき、自主的に配布場所へ行き、受け取っていただく。他に人がいる中で、恥ずかしくて声に出せない場合もあるので、声に出さなくても伝わるカードを常備し、提示していただくことで声に出さず受け取ってもらうことができる。

会 長：カードはどこに配置されているのか。

事務局：窓口や女性活躍センターのトイレにも常設している。

会長：生理用品はどこに置いてあるのか。

事務局：生理用品は執務室内にあり、窓口で希望された方に配布している。生理用品は一つではなく、1セット配布している。

会長：緊急でトイレで使えるものではないのか。

事務局：緊急のものではなく、家でご利用いただくものである。

会長：女性活躍センターあすもあで10というのとは10セット利用されたということか。

事務局：1人1セットであり、10人が利用された。

会長：最近では、イオンの女性トイレに生理用品が設置してある。

事務局：専用のアプリをスマートフォンにインストールし、登録して利用できる。市は日常で困っている方へ配布しており、コンセプトがイオンとは異なる。事業開始当初は公共施設に配架する話もあったが、衛生面に問題があり断念した。市内の学校においても、個々の状況を確認し、配布しているため保健室に取りに来てもらうようにしている。

会長：学校というのとは小学校、中学校、高校のうちどれか。

事務局：向日市立の小学校、中学校で行っている。

委員：女性活躍推進事業について、民間でも企業とコラボして、同じようなマルシェをするのが最近では広がってきている。市の自主事業だけではなく、民間の自主的な活動の支援を行うのはどうか。

事務局：民間と協力して事業を行うことも重要だと考えている。例えば公共施設を開催地として提供するなど、連携できる方法を検討していきたい。

委員：企業からアプローチがあり、コラボして活動されている団体もある。行政が関わる必要はないのかもしれないが、女性活躍推進事業を活発に行っている市というのをアピールしていくべきである。

会長：既に2回実施されているあすもあマルシェの開催地はどこか。

事務局：女性活躍センターあすもあの全館を使用し開催している。

会長：過去に参加したことがあるが、あまり参加している方がいない印象だった。

事務局：時間帯によって波がある。

会長：6月は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、そんなに賑わうこと

がなかったのかもしれない。

委員：先ほど話したような市民ベースの女性活躍を行っている「OTOKUNI レザミ」が開催したマルシェは盛況だった。自主的に活動しているところは積極的に SNS 等で発信している。ママ達が自発的に活動している。

事務局：企業と市民団体が自主的に活動するのが好ましいが、実際向日市内において活発に事業が行われてこなかったので、市の事業としてあすもあマルシェを行った。あすもあマルシェを機に自主的に活動してもらえよう支援したい。

委員：女性活躍センターあすもあで開催されている女性応援セミナーを活用して起業に繋がり、あすもあマルシェに出展されたという事例はあるか。

事務局：現時点ではない。

委員：あすもあマルシェに出展された際にネットワークが生まれ民間と連携できるのが理想である。

事務局：最初の年は起業された方がいたと聞いているが、今年度新たに起業に繋がった方がいるとは聞いていない。女性応援セミナー「初めてのネットショップ運営」に参加された方のなかには、子育てもひと段落したので、起業してみたい気持ちはあるが一步を踏み出せないため、話を聞きに来たという感じもあった。

会長：女性応援セミナーは何名参加されたのか。

事務局：女性活躍センターあすもあの会場定員が30名のため、講師や職員を差し引いた25名が講座の定員だが、申し込みは定員以上あった。超えた分についてはお断りさせていただいた。

会長：女性応援セミナーを継続することで、あすもあマルシェの出店に繋がると良い循環になると思う。

事務局：女性応援セミナー「スマホカメラ講座」の講師の方は日頃、女性活躍センターあすもあを利用されている方で、今回事務局から依頼して講座を開催していただき、講座の中で自身の活動の紹介もされていた。

会長：広報むこうの人権強化月間の記事について、説明文はあったが具体的な事業についての記載が無かった。

事務局：事業については、別の号に掲載している。

—議事内容（２）について—

委員：第３次向日市男女共同参画プランの令和３年度進捗状況について、事業への参加人数等の数値が書かれていないため評価の基準が分かりにくい。数値データを入れた方が判断しやすいのではないか。実施したら評価がＡになるのか、効果があったから評価がＡになるのかが読み取れない。

会長：配慮した要点では、「研修を実施した」となっているのに、評価の理由には「女性の船の研修について新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止になった」とあるので齟齬が感じられる。中止になった研修に代わる研修を行ったのかが分からない。実際はどうだったのか。

事務局：研修のための準備は行ったが、実施できなかった。記載はないが、他にも研修は行っている。今後は詳細についても記載する。

委員：広聴協働課の評価が他の課に比べて厳しい。数値があればもう少し分かりやすいと思う。

事務局：次年度は各課に照会した際、数値化して記入するよう依頼し、改善に努める。

委員：事業や研修を実施する際、今は市民会館がないため、人が多く集まれる場所が無い。福社会館を利用することもあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により定員が３０名となっている。主催者側も含めてなので、参加者は２５名ほどに絞られる。ＰＴＡの事業などは６０～７０名の定員があれば、各学校から５名程度参加していただける。最近では、「ＰＴＡだより」が紙媒体からウェブに代わってきているなど、ウェブを利用することが多い。事業の開催日についても、参加者が出席できる日時を設定するのが難しい。できるだけ広く多くの方に参加してほしい。

会長：様々な事業があっても人数制限で参加できないのは勿体ない。

委員：必要提出書類からアンケートまで行政へ提出する書類はとても多い。受け付けた行政もそれを処理するのはさらに苦勞すると思う。事業を行いつつ集計し、評価して公表するのはさらに大変なため、もう少しシンプルな書式にならないか。

会長：一つの事業に複数の施策が関わっており、施策ごとに何度も評価して

いるため、集計する際には1回にまとめるのはどうか。

事務局：市にはふるさと向日市創生計画が最重要計画としてある。その項目の中に人権や男女共同参画についても記載されている。さらに、その項目下に男女共同参画プランを作成するよう国からの依頼もある。他にも高齢や障がい等多くの計画があり、それぞれの進捗状況を管理する必要がある。

会長：男女共同参画にかかわらず、すべての計画に管理が必要ということ。

事務局：ふるさと向日市創生計画の項目だけで評価すればシンプルになると思うが、そうすると細かい内容まで評価できない。

会長：細かい内容ではあるが、重複している部分がある。

第3次向日市男女共同参画プランの具体的施策80の「PTA活動や地域活動などにおいても、性別に基づく固定的な役割分担を前提に運営されることのないよう留意する」に対する評価に具体性がない。

委員：PTAは自発的に活動し、運営についても男女にかかわらず行っている。教育委員会から性別に関する役割分担について相談を受けたことは特に無い。明文化はされていないが、会ごとに性別が決まっているところは実際ある。会長を務めているのは男性でも副会長や庶務など細かい作業は女性が行っていることが多い。男性にPTA活動へ参加するよう依頼しても関わりにくいという現状があり、どう工夫したら参加しやすいかを吟味している。

会長：評価に記載されている「性別にかかわらず、PTA活動や地域学校協働活動に参加されていた」というのもそのような努力により男性も参加されていたのではないか。学童の保護者会はPTAと似ているが女性が会長を務めた年も多くあった。性別関係なく、自主的に務めていただけの方をお願いしている。女性の場合、会長になるのを嫌がる方も多い。こだわらずにどちらが会長に就任してもよいのが理想である。

委員：評価の理由として、参加されていたという結果にはなっているが、性別にかかわらず、参加するように働きかけたかという視点で見ると評価はこれで良いのか。実際誰が参加しているのかも踏まえて評価しなければならない。

委員：PTAで活動する中であまり性別を気にすることはない。女性の中には人前で話すのが苦手とおっしゃる方も多い。

- 委員：ここ3年間はほとんど会議が無く、会議の開催を周知することも参加することもなかった。道徳的なことで何か変更があればトップダウンで降りてくる。学校教育関係が一番男女の差を感じないという評価であるとおり、学校で働いている先生の男女比もほぼ同率で、子どもたちの中にもそんな差を感じない。学校教育課の評価はすべてAになっているが、施策に対して何かをしたから評価がAなのか、何か感触があり評価がAなのかというのが分からない。
- 委員：今の中学校では制服に性別の縛りがなく、マスクをしているのもあり見た目だけではどちらの性別か判断できない。先生がそういった変化に対応し努力されている。
- 会長：向日市の公立学校はどこも制服の性別による縛りはないのか。
- 委員：向日市内は無い。
- 会長：普段着では女性がスラックスを履くのは不思議ではないため、制服で女性がスラックスを履いても違和感はない。
- 委員：最近では男性でも育児休暇を取られる方も多い。男性が子どもを連れて事業に参加されることも珍しくない。ここ数年で状況がかなり変わってきている。特記事項で特に変化した部分を取り上げるのはどうか。市の男性の育児休暇の取得率が向上していることなどをまとめて報告書にするのはどうか。ABCの評価だと評価した方の主観になってしまう。
- 会長：市の審議会等における女性委員の参画状況が現時点では目標の40%に満たないとなっているが、女性委員の参画が低いところに協議を行った例はあるか。
- 事務局：今回の報告も兼ねて男女共同参画庁内推進会議を開催する予定である。メンバーは管理職で構成されており、各課で委員を選出する際にその意識が必要であるため周知を行う。
- 会長：女性委員の割合が低い理由に女性が委員に就任する際、躊躇することがあるのか。
- 事務局：女性だから断られる率が高いということは無いが、委員に相応しいと考え、市から声かけをしても遠慮されるケースがある。
- 委員：社会に出るまではそこまで男女の差を感じなくても、社会に出た際に差を感じることもある。女性は家庭のことをするべきだという考え方

もまだまだ多い。そんな中で、例えば夜に開催される会議に参加するとなると躊躇される。小さい子どもがいる家庭であればなおさら躊躇われる。

会 長：どのような会議かにもよるが、保護者会は夜が多かったので子どもを連れて参加していた記憶がある。

委 員：今、保護者会があるのは公立のみである。（保護会がない方が良いという意味で）保護者会があるか確認する方が多いように、会議へ積極的に参加しようという方は稀なのかもしれない。

会 長：保守的なところは長年、男性が委員になる傾向にある。時代と共に変化することによって向日市は良くなっていくと思う。

委 員：来年の啓発事業として、この場でアイデアを出し合い来年度事業として行うのはどうか。毎年の事業計画も同じような項目が多いため、審議会で取り上げられた問題点を改善するようなアイデアを出し合い来年度に繋げるのはどうか。

事 務 局：予算の関係上、新規の事業は難しいが、できる範囲で工夫することは可能である。

会 長：前年のいきいきフォーラムの様に重要なテーマで様々な方に参加してほしい事業でも、実際参加されるのは意識の高い方で、一番足を運んでほしい方が参加されないと勿体ないのではないか。

事 務 局：今までであれば、1歳未満の子どもは保育に預けて親のみの参加としていたが、今年度考えている講演会では、会場へ子どもも一緒に参加してもらえるなど、より幅広い方に足を運んでいただけるよう工夫している。

委 員：町内会は家長の名前で提出することがほとんどで、男性の名前で提出されている。実際出席しているのは女性であるケースもある。

会 長：マンションの管理組合は、事前に提出している名前が男性でも出席しているのが女性でもよいという規約がある。

事 務 局：その日の都合の良い方が出席できるようフレキシブルに対応できるようにしていくのが好ましい。

会 長：マンションは単身者が多いためか、女性の名前になっていることも多い。

委 員：発言する機会がないような会議では、どちらが出席してもあまり変わ

らないのでは。

会 長：市内の地域によって異なるため、施策の項目にするのは難しい。日本女性会議に市民を派遣したなど具体性があれば評価もしやすい。

委 員：男女共同参画に関わる市の事業の現状を見える化し、具体的な成果をアピールした方が良い。

会 長：広報むこうの中で、どこが男女共同参画の部分なのか分かりにくいので、男女共同参画の記事にはマークを付けるなど工夫した方が良いのではないか。

事 務 局：広報むこうに掲載する際、もう少し記事を探しやすくなるよう検討していく。

委 員：課によって評価にばらつきがあるため、年度初めに開催された男女共同参画ワーキンググループ会議で向日市男女共同参画プランの進捗状況の評価について説明する際、評価の基準が伝わっていないように思う。来年度の開催時には、評価基準に沿って報告するようしっかり伝えるべきではないか。

事 務 局：来年度男女共同参画ワーキンググループ会議開催時、評価基準について他課へ詳細に説明する。

会 長：皆様の意見が多く出て、課題も見えてきた会議であった。

本日の議題については以上で審議終了とする。

事務局から次回の日程について説明をお願いしたい。

事 務 局：来年の3月ごろに審議会を開催予定である。日程調整のうえ開催する。